

越後をつむぐつるし雛街道

つるし

雛祭り



2023年
2月28日(火)～
3月26日(日)

開館時間／午前9時～午後5時
開催期間中の休館日／3月6日・13日・20日

会場

西山ふるさと館
(道の駅 西山ふるさと公苑)

入場無料

雪割草展



雪割草の販売もあります

つるし雛とは



伊豆の稲取温泉が発祥で、江戸時代から伝わる伝統的な風習です。江戸中期には現在のようなひな人形が飾られるようになりましたが、当時とても高価だったため、庶民の手に届くようなものではありませんでした。そこで、「手作りで子どもの初節句を祝おう」という親心から生まれたのが、この「つるし雛」。ひとつひとつのモチーフに子どもの幸せを願う想いが込められています。

柏崎市にはつるし雛の風習はありませんが、2007年に発生した中越沖地震の復興イベントの際に講師・大倉昭子さんのオリジナル作品が紹介されたことをきっかけに、その小さくて愛らしいモチーフが大人気となりました。5cmにも満たないような、小さな小さなつるし雛。平和と幸福を願い、丁寧に作られた作品を、お楽しみください。



つるし雛かざり・それぞれ由来



梅【うめ】

厳寒に耐え、かぐわしく凛と咲く梅の花は、女性の「美しく、芯のある生き方」を示すもの。松竹梅のひとつとして、お正月に限らず、お祝い事に一年中欠かせないものでもあります。



抱き猿【だきざる】

さる(去る)にかけて、「病が去る」・「災いが去る」という意味が込められています。互い違いになって丸いかたちをしていることから、「家庭円満」の意味も込めて。



さるぼぼ

「ぼぼ」とは赤ちゃんのこと。岐阜県・飛騨高山地方の郷土人形で、「病がさる(猿)」「家庭猿(えん)満」「猿(えん)結び」などの意味も込められています。



二枚貝【にまいがい】

二枚貝は、ほかの貝と合わないことから、生涯同じ人と連れ添うよう、女の子の幸せを祈ります。



宝袋【たからぶくろ】

縁起のよい宝袋は富の象徴。豊かな人生が送れるよう、お金に困らないようにと祈って飾ります。



桃【もも】

花・葉・種すべてに薬効があり、「邪気・悪霊を払い、延命長寿を授けてくれるように」との願いが込められています。また瑞々しい果実と早春の花の艶やかさは、女の子の象徴です。



ぼぼ

岐阜県・飛騨弁で「赤ちゃん」の意味を持つ「ぼぼ」。女の子の遊び道具を示しています。



人参・大根【にんじん・だいこん】

滋養がある「人参」と、毒消しの「大根」。我が子が健やかに育ちますように、との祈りを込めて。



草履【ぞうり】

早く歩けるようになりますように。健脚・健康になり、働き者になれるお守りとして。



三角【さんかく】

昔、薬袋はすべて三角のかたちをしていました。この「三角」のかたちに、「病気と無縁でありますように」との願いが込められています。不運が起こらないように祈るお祓としての意味もあります。

今年の会場の様子



西山ふるさと公苑

西山ふるさと公苑



柏崎市西山町坂田 717-4
開館時間/9:00~17:00

0257-48-2839



つるし雛スタンプラリー

見附、出雲崎、西山をつむぐ
つるし雛街道

期間中、3会場のスタンプを集めると、素敵な景品が当たります！
※3会場とも、開催期間が異なります。



- | | | |
|------------|---|-------------------|
| 見附 | 市民交流センター
ネーブルみつけ
見附市学校町1-16-15 TEL 0258-62-7801 | 2月21日(火)~3月7日(火) |
| 出雲崎 | 北国街道 妻入り会館
三島郡出雲崎町尼瀬166 TEL 0258-78-3700 | 3月1日(水)~4月16日(日) |
| 西山 | 西山ふるさと館
柏崎市西山町坂田717-4 TEL 0257-48-2839 | 2月28日(火)~3月26日(日) |